

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回春日部市総合教育会議
開催日時	令和4年10月18日（火） 午後2時00分 開会 午後3時10分 閉会
開催場所	教育センター2階 視聴覚ホール
議長（委員長・会長）の職氏名	-
出席者及び欠席者の職氏名及び人数	別添の名簿のとおり
事務局職員 の職氏名	政策課 企画調整担当主幹 染谷 学 政策課 企画調整担当主事 土居 昌弥
会議事項、議題 及び説明者	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 教育長あいさつ</li> <li>4 協議・調整事項             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和5年度 組織機構改革について（意見交換）</li> <li>(2) 令和5年度 教育行政の重点施策について（意見交換）</li> <li>(3) 部活動（地域移行）について（意見交換）</li> </ul> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">説明者：総合政策部次長、学校教育部次長、 学務指導担当次長、社会教育部次長</p> </li> <li>5 事務連絡</li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議資料	・令和4年度第2回春日部市総合教育会議 次第
会議録の確定	令和4年11月14日

## 会 議 録

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
説明者	<p>【1 開会】</p> <p>【2 市長あいさつ】</p> <p>【3 教育長あいさつ】</p> <p>【4 協議・調整事項】                      (1) 令和5年度 組織機構改革について (意見交換)                      ≪資料に従い説明≫</p>
市 長	<p>テーマについて、委員の皆様から順番にご意見をいただければと思います。</p>
委 員	<p>時代の流れがあり、生涯学習やスポーツに関するものが市長部局に入り、総合的な施策運営が可能になると理解しています。</p> <p>文化庁やスポーツ庁からこうした動きを推進する通達があるようですが、近隣自治体は進んでいないと思います。春日部市として、今の時期に推し進める目的を、市長にお伺いします。</p>
市 長	<p>まず、地域の声があがりにくい状況にあり、それをいかに吸い上げるかが重要です。</p> <p>次に、公民館等の施設を市長部局に移管することで、教育以外の利用も可能となり、施設の有効活用が可能であると考えます。</p> <p>本市の公共施設マネジメント基本計画では、施設総量を20%減らすとしており、施設をある程度複合化して、地域を網羅していく必要があります。地域づくりを行政単独で行うことは財政的、人員的に難しい状況で、地域の参画・協働が重要です。</p> <p>さらに、最近は子どもの勉強や遊びの場がなく、子どもの居場所づくりが重要となっています。公民館の時間を区切って、子どもに居場所を与えて、地域の人に入ってもらって勉強を教える等すれば、地域の力が強まると考えます。</p> <p>こうしたことについて他自治体の成功事例を取り入れて、今の段階から取り組んでいくことが必要です。</p> <p>今、学校は非常に大変な状況にあるため、社会教育に関する施設を市長部局で持つことで、学校は学校教育に集中してもらい、いい</p>

<p>委員</p>	<p>教育をしてもらいたいと考えます。</p> <p>大事なことなので、是非、進めていただきたい。 しかしながら、教育委員会で今まで進めてきたことも無駄ではなかったとの視点を前提に、市長部局で進めていただくと、市民との協働が深まると考えます。</p>
<p>市長</p>	<p>以前、社会教育委員に就任していた際に、学校が終わった後の、社会教育の受入が重要であるとの話がありました。 本市は生涯学習都市宣言もしておりますので、しっかり指示を出していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>行政の形が変わっても、職員が働きやすく、市民サービスの低下とならなければ良いと考えます。 公民館が各地域の拠点となることは、子どもの居場所や、生涯学習の点からも良いことと認識しています。 生涯学習の講座については、市長部局に移管された後も件数が減ることなく、発展するようにお願いしたいです。 また、子どもの居場所が出来ることで、保護者についても横の繋がりができると良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>人気のある施設は予約が取りにくい状況にありますが、施設の老朽化、特にトイレの状態について気になります。 外部の人から見た春日部市のイメージにも関係するため、対策について伺いたいです。</p>
<p>説明者</p>	<p>国からの交付金を活用しまして、公民館のトイレを部分的に洋式化する工事を11月に行う予定であり、全公民館の60%について洋式化されたこととなります。また、同じ交付金にてトイレ手洗いの自動水栓化を行います。 今後は、公民館等は市長部局に移管となりまして、他の公共施設と一体的に整備を進めていくこととなります。</p>
<p>市長</p>	<p>この件について教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>今までも公民館等はしっかりとやっていますが、市長部局で一元管理となることで、市民サービスの向上へと繋がると前向きに捉えています。 市民への利便性が向上し、かつ、社会教育が衰退することのないよう、しっかりと連携を取ることが重要と捉えています。</p>

<p>市 長</p>	<p>続いて、「(2) 令和5年度 教育行政の重点施策について」の説明をお願いします。</p>
<p>説明者</p>	<p>《資料に従い説明》</p>
<p>市 長</p>	<p>こちらのテーマについて、ご意見をお願いいたします。</p>
<p>委 員</p>	<p>重点施策につきましては、大枠は前年同様で良いかと思えます。          また、ICTにつきましては、教員も慣れてきていると思えますので、よりよい学校教育に発展させてもらいたいです。          さらに、コミュニティスクールに関連して、地域で子育てをする理念を学校教育に取り入れて、高校や大学などとも連携や交流をしてもらいたいと考えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>委員の研修について、現状では中止や書面になっていますが、社会情勢が落ち着いた際には、まちに出て春日部市との比較や、まちづくり、教育委員会の在り方を学んでいけたらと思えます。</p>
<p>委 員</p>	<p>良く精査された点検・評価であると思えます。          こうしたものが子どもたちの学力アップにもつながり、公民館の開放により、知識等あらゆるものの発展に繋がるはずです。          年1回開催する教育委員会表彰では特質したものを持った子がいますが、そうした子どもが多く出てくると、春日部市にとってプラスの方向になると考えます。</p>
<p>市 長</p>	<p>この件について教育長、お願いします。</p>
<p>教育長</p>	<p>令和5年度に向けては事務移管もあり、点検・評価の内容から変更もありますが、伝統として受け継いで行くべきものもあります。          また、予算的に見れば校舎やトイレ、エアコンといったハード面にお金が掛かるところですが、ソフト面も予算増に向けて力を入れたいと考えます。          さらに、社会教育の一部が市長部局へ移管となるものの、引き続き文化財等は教育委員会に残りますし、これまで行ってきた多方面との連携もありますし、しっかりと取り組んで行かなければなりません。一層の市長部局との連携が必要と考えます。          令和5年には、コミュニティスクールが全校実施となることから、地域をあげてのまちづくりとして、これも重点施策の柱に盛り込まれていくものでしょう。</p>

	<p>一方、学校の多忙化もあるため、学校教育の質を落とさずに、子どもの教育の中身をどう構築するか、事務局で考えつつ、皆様のご協力をいただきますようお願いいたします。</p>
市 長	<p>続いて、「(3) 部活動（地域移行）について」の説明をお願いします。</p>
説明者	<p>《資料に従い説明》</p>
市 長	<p>こちらのテーマについて、ご意見をお願いいたします。</p>
委 員	<p>これは、教員の負担、特に新任教員にとっての負担といった問題があるのではないのでしょうか。そうした教員のケアが必要であり、何が問題かを共有することが大切です。</p> <p>どうすれば良いかまでは分かりませんが、教員の負担軽減がこのテーマの解決に繋がるのではないのでしょうか。</p>
説明者	<p>実態の把握が必要であり、教員に対するアンケートを実施する予定です。</p>
委 員	<p>大きな改革なのかと思います。中学生にとって部活はとても大切で、人間形成において大きな意義があります。</p> <p>集団スポーツなどで、部員がいないから他校と合同することで参加できるようになる点は、単純にはいいことかと思いますが、中学校の部活の意義や、教育的な役割は何なのかと思います。</p> <p>また、列記すれば、部費、指導団体の育成、学習指導要領との関連、土日の対外試合の負担、教員が多忙でゆとりがない現状、平日と土日の指導者が異なることで生徒の混乱等があると思います。</p> <p>時代の流れでこういったものも必要かもしれませんが、中学校の部活でプロを養成するのではないという点は把握しておく必要があるでしょう。素晴らしい先生ですばらしい成績を残しても、それだけ、ではどうでしょうか。</p>
説明者	<p>これまでも教育委員会内や、校長等の代表者と検討を重ねてきましたが、子どもたちにとっての部活動の良さ・意義をしっかりと念頭に置いて、引き続き学校等の意見を集約し、今後の方向性を探ってまいりたいと思います。</p>
委 員	<p>現行の部活動の認識を大きく変える改革だと思います。</p> <p>中学生の部活動は、勉強と比較しても大きな比率を占めるものだ</p>

<p>市長</p> <p>教育長</p>	<p>と思うのですが、国からの提言で、文化・スポーツに親しむ・楽しむ方向に転換していく感じがしました。</p> <p>しかし、移行に当たっては、地域の受け入れ先や場所、人材、子どもの不安、家庭の送迎等の負担感、といった課題が多いと思います。</p> <p>また、休日の部活動から段階的に移行とありますが、学校に希望する部活がないためクラブチームに所属する子ども等、段階的な移行に対応できない子どもを容認してあげることも必要かと思えます。</p> <p>この件について教育長、お願いします。</p> <p>この問題は、課題しかないです。</p> <p>この話の発端は、過疎地等、子どもが減っている地域の部活動の対応や、働き方改革であろうと思えます。</p> <p>学校が4校程度しかない自治体であれば、自治体単位で部活を作ることにも出来ると考えます。しかし、春日部市の場合は学校規模が全く違う学校があり、自立の可否が混在している状況で、色々な課題があるため、市の方針としてやっていくのは極めて難しいでしょう。</p> <p>そもそも、部活動について、学習指導要領は改訂されていません。部活動とは何かを議論せずに、方法論のみを議論している点に大きな課題があります。</p> <p>日本流の部活の在り方について、教職員のボランティア精神にもたれかかってきたことが、浮き彫りになっています。専門で指導している教職員は3割しかいない中で、教職員の意見は割れています。このままでは、地域移行になっても何ら変わらず、教職員が「地域の人」として兼職・兼業の身分で土日の部活で働くこととなります。</p> <p>おそらく、保護者や子どもは「もっと部活をして欲しい」との考えがあると思いますが、働き方改革の点もあり、それでもどこかで英断をしなくてはなりません。だからこそ難しい。</p> <p>国は最終的に平日も地域移行を目指していますが、土日に部活を指導しても良いと考える人は、だいたい仕事を持っています。そうすると退職してフリーな人材を確保することとなりますが、これはまず無理でしょう。結局、教職員の兼職・兼業に頼らざるを得ないかと思えます。</p> <p>また、子どもたちから部活がなくなり、勉強と行事だけでは学校生活がもちません。教職員、親、子どもたちが考え方を变える必要があります。もし、「部活があるから何とか学校で頑張れる」といった子どもが切り離されると、SNSを交えて、以前よりも荒れた学校の</p>
----------------------	---



令和4年度第2回春日部市総合教育会議 名簿

【構成員】

No.	役職	氏名	出欠
1	市長	伊々 加 <sup>レ</sup> ヒロ	出
		岩谷 一弘	
2	教育長	加タ トル	出
		鎌田 亨	
3	教育長職務代理者	ミズヌマ アキミ	出
		水沼 章文	
4	教育委員	カマリ リョウイ	出
		金森 良泰	
5	教育委員	カダ シンジ	欠
		岡田 新司	
6	教育委員	アキヤマ サエ	出
		秋山 早苗	

【執行部】

No.	役職	氏名	出欠
1	総合政策部長	ヒユウガ マコト	出
		日向 誠	
2	総合政策部次長	ノモト ノボル	出
		野本 昇	
3	学校教育部長	ナカジマ タク	出
		中島 拓	
4	学務指導担当部長	タノ トシユキ	出
		舘野 俊之	
5	社会教育部長	オオカワ ヒロキ	出
		大川 裕之	
6	学校教育部次長	シハラ ナキ	出
		篠原 直樹	
7	学務指導担当次長	オノ アキヒコ	出
		大野 明彦	
8	社会教育部次長	カミヤ ツカサ	出
		神谷 司	